

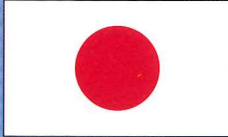


# いなほ

稲積神社社報

第28号

平成20年 1月1日発行



## 迎春



遷宮で結ぶ人の輪心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮

六 月 三十日	五月 二日	三 月	二 月 三日 八日 十二日 十七日	一 月 一日	毎 月 一日 三日 十五日
夏越	献	甲熊天	受祈初	新	古神月
大田	木	子野天神	験合格	年	神札焚
祓	祭	社社社	折祈願	祈旦願	感謝
満植	祭	例例例	祭祭祭	祭祭	上げ謝
灯祭	祭	祭祭祭	祭祭祭	祭祭	祭祭祭



平成二十年 運勢

宮司 根津 泰昇



平成二十年は、神武天皇即位より、二六八八日目であります。十二支は戊子。戌は、樹木が茂る意があります。子年は、軽率な行動を慎み、物事に気配りし、無駄使をせず、心の清掃すなわちお清めをする事の生活を営むことにより、敬意を受けたたり、財運にも恵まれる年となるでしょう。
一白水星年は、災害多、水害、雪害、沈没、盗難又不況の年と言われます。
平成二十年戊子一白水星年は、軽率な動きをする、何かと心労多く悩みや気迷い事が多い。人や行動に気配りする事により良き事あり。無駄な行動、散財により二つの事柄に心労多く、経済的困窮を招く。今年、常に清浄(戒)い清める事、邪心を取除く、で正常な生活を営む努力を重ねて吉となる。

平成一白水星(平運期の慎重運)
今年には保守保全に努めて、慎重な行動を取る事により、自分自身を誇示出来る。変化変動を起こすと、悪化作用が働き、災難を招来させる事になる年なので注意。将

Table with columns: 星 (Stars), 誕生年 (Birth Year), 吉凶方位 (Auspicious/Inauspicious Directions). Lists various stars like 一白水星, 二黒土星, etc., with their birth years and directions.

吉凶方位
●吉方 東・南
●凶方 北・東南・南・西北
●建築一切吉
☆三碧木星(平運期の順調運)
事柄を結実完成させてきた人、順調に推移してきた人は、社会から認められる年。反面自身に隙が見えたり、気が緩むので注意が必要。心身の管理や経済面の管理が、将来を左右させるので、健康、経済に注意する事。
●昭和三十九年生二十九歳
大業を求め、己は力不足なので、心掛ける年。結婚話しには良い年です。
●昭和三十八年生二十八歳
対人関係に親密度を増す年であ

来の運勢の安定度を決定する重要な分岐点となるので平穩冷静にし、努力が必要な年です。
●昭和五十六年生二十七歳
特に運期が衰えるので要注意が必要な年。犯罪、暴動に巻き込まれないように。
●昭和四十七年生三十六歳
人生一大飛躍を計ろうと、物事を強引に進めると落とし穴があります。将来(十年後)を見据え生氣(エネルギー)を蓄える好時期です。将来に希望を抱き計画を立てて下さい。
●昭和三十八年生四十五歳
今迄の生活、仕事を振り返り、良き事、悪しき事を見極め、心を整理し、将来に向けての計画を練り生氣(エネルギー)の蓄積に努める年。

●昭和二十九年生五十四歳
迷いや、物ごとの前進危うい時には、ただちに行動中止し、保守保全に努める。又色情難が見え隠れするので注意。
●昭和二十年生六十三歳
晩年安泰の基盤を計画する時、なれど大きな動きは禁物、細心の注意を払い行動、体調にも充分注意。
●吉方 北東・南西・西
●凶方 北・南
●建築・諸事見送り
☆二黒土星(平運期の良好運)
今年には物事が進り遂げられなかつた事や不完全な事柄を結実完成を図る年。すなわち物事の結実に一生懸命の努力が必要。努力する事により、努力が報われる年でもある。逆に、結実完成の為に、人

に振り回され東奔西走したり、支出が嵩む事もあるので注意。又体調管理も大切な年。
●昭和五十五年生二十八歳
目上の有力者の援助を受け目的達成の為に努力奔走する事により、人間造りの基礎となる年。未婚者は良縁のある年、特に女性。
●昭和四十六年生三十七歳
将来の為に尊厳と威信を築き上げるのに良い年、その為に家族の絆を強いものに造りあげる年、女性後は厄になり。厄除祈願をお受け下さい。
●昭和二十八年生五十五歳
地位、権力、経済力が社会の信用を得身に付く年、それ故日々が多忙になるので、体調管理に気を付ける事。
●昭和十九年生六十四歳
人生の中で不完全燃焼の事柄の結実を図りたいと意欲が出る年なれど、無闇に利権を求め行動しない事。将来の生活が充実出来るように、城壁造りに努力すると良い年。
●吉方 東・南
●凶方 北・東南・南・西北
●建築一切吉
☆四緑木星(衰運期の変化運)
従来諸事に終着があり、改善策を探さうな年。そのような事態には、慎重に立ち向かい努力を積み再出発の糸口を探す事。精神、経済、友好、事業の各方面でも思うように進まないう年。
●昭和五十二年生三十歳
今年には運命の分岐点なので将来に向けてどのように進むべきか思案する年。人生初の衰運を迎えるので星除け祈願を受けた、無理せず道理にかなった進路に努力する年。
●昭和四十四年生三十九歳
進路、思考を二途あり決し難い年なので、考えを原点に戻し、積極策より消極策を、前進より退去を、新道より旧道を通る策が賢明。
●昭和三十五年生四十八歳
元費、遊興をやめて、蓄財、保

平成二十年 度

祈願提灯奉納のすすめ



古来より清浄なる火に神宿ると言われております。

この故事にちなみ、当社では、ちようちに住所、氏名、家内安全、商売繁昌祈願のどちらかを書き入れ御神前に掲げ一年の御繁栄、御幸福と共に社頭の股賑を図っております。

宏大無辺なる稲荷の神様の御加護を戴く日々をお過こしになるよう「祈願提灯」の奉納をお勧め致します。

祈願提灯初穂料

一灯 一年間 七千円以上

祝祭日には

国旗を上げましょう!!

神社社務所でも頒布しております。

国旗セツト

(国旗、竿、金色冠頭、取付金具、収納袋付)

頒布価格 一、五〇〇円



### 崇敬会だより

去る八月二十六日に、「第三回崇敬会大祭並びに県内神社視察研修」が会員六十八名の参加を戴き盛大に執り行われた。

先ず、午前十時より根津宮司祭主他祭員一名により崇敬会大祭神事が厳かに斉行された。終了後午前十一時に「県内神社視察研修」へ出発した。これまで崇敬会大祭は神事の後、著名な方々に御講演を戴いておりましたが今回の企画は当社外郭団体、稲積神社甲府伊勢講千社詣りの講があり、四十数年に亘り全国各地の神社仏閣を参拝し好評を博しておりますが、本来は身近な存在である県内の神社の御祭神、由緒は元より正式参拝となるとなかなか出来ないという声も多く今回、崇敬会大祭に合せ「県内神社視察研修」として北口本宮富士浅間神社の「吉田の火祭り」視察研修となった。

視察研修は先ず、富士山五合目に鎮座する小御嶽神社正式参拝を行い、その後昼食、五合目散策を行った。まだまだ残暑厳しい日であったが、やはり五合目は涼しく秋の気配を感じることが出来た。そして北口本宮富士浅間神社へ向かった。既に祭りの熱気ムンムンの中、北口本宮富士浅間神社正

式参拝、メイン行事である「吉田の火祭り」散策を行った。

「吉田の火祭り」は、静岡県島田市の帯祭り、愛知県国府宮のはだか祭と共に「日本三奇祭」の一つに数えられているように、いたる所に筒形の大松明に火が点けられ、さながら街中火の海と化していた。

また諏訪神社祭の後行われる大御輿の渡御が声勇ましく行われる、「御影」と称する赤富士を模した重さ一トンの「おやまさん」と呼ばれる御輿は、地面にドドンと落とされ神威の発揚を願い、勇壮な渡御が行われる、そしてこの火を鎮める「鎮火大祭」が終ると富士山の山開いである。

今回は吉田方面の神社参拝で有意義な貴重な体験に今回の「県内神社視察研修」の開催を望む声が多く継続の企画が期待される。

### 伊勢講だより

#### 私の沖繩

伊勢講 今橋 保  
相談役

私は昭和四十年夏に沖繩を一ヶ月ほど大学の友人と旅をしました。当時は佐藤総理の時代で、まだ沖繩は本土復帰が叶わずアメリカの支配下でバスポートが必要でした。学生ですのでお金はなく宿舎は琉球大学の好意で無料の宿舎を用意してもらい、勿論飛行

機と言うわけにはいかないの

で、東京駅から夜行列車に乗り西鹿兒島駅に翌夕方到着、安宿に一泊し翌朝那覇行きの船で沖繩に向かいました。到着するまで三日以上掛けたので学生でなければ出来ない旅でした。南部の戦跡地で涙を流し、中部の基地の町でその巨大さと柵の中の芝生の青さと柵の外のケバケバシイ英語の看板のアンバランスさを見て何かおかしいなと感じたり、北部では沖繩の本当の自然の素晴らしさに感動しました。それから四十年、今回の伊勢講の旅でスピード化、システム化された時代の流れを痛感しました。

甲斐の塔で伊勢講ならではの慰霊祭が行われました。学生時代の旅ではこんなに立派な塔はありませんでした。当時私が見たのは昭和二十八年六月十五日中富町出身の山中幸作氏が私費で建立したものでした。今も甲斐の塔の敷地内にあるとの事でしたが、残念ながらその塔を見逃してしまいがちです。現在の塔は昭和四十一年十一月八日に建立され、沖繩戦戦没者五五〇柱、南方諸地域戦没者二一、五〇一柱合計二二、五〇一柱が祭られていくとの事です。

慰霊祭では根津宮司が祭主として祝詞を奏上し、参加者一同戦没者の御霊に対し拝礼を行いました。神饌は戦没者

に故郷のものをという心から神社で作ったお米、お水は神社のご神水、野菜や果物、お酒と山梨県産で揃えてありました。さぞかし英霊も喜んだことと思います。この慰霊祭に参加し、学生時代の旅は沖繩の表面のみを見て歩いただけだと感じました。日本の礎となった戦没者に感謝の気持ちを捧げる慰霊祭は、私ですがすがしい気持ちにさせてくれました。

### 新春企画

#### 恵方参りの旅のご案内

平成二十年の恵方は、南南東です。恵方とは、正月の神の来臨する方角をさします。この方位の神社に参拝し、大気に触れることにより、何事も繁盛し、大吉であるといわれています。

今年二月四日〜五日の一泊二日の日程で恵方位にある「富士山本宮浅間大社」に参拝します。

会費 二六、五〇〇円

詳細は神社にお問合せ下さい。

### 平成二十年厄年表(数え年)

男の厄年	前の厄	本厄	後の厄
24歳 昭和60年生	41歳 昭和43年生	60歳 昭和24年生	61歳 昭和23年生
25歳 昭和59年生	42歳 昭和42年生	62歳 昭和22年生	63歳 昭和21年生
26歳 昭和58年生	43歳 昭和41年生	64歳 昭和20年生	65歳 昭和19年生

女の厄年	前の厄	本厄	後の厄
18歳 平成3年生	32歳 昭和52年生	36歳 昭和48年生	37歳 昭和47年生
19歳 平成2年生	33歳 昭和51年生	37歳 昭和47年生	38歳 昭和46年生
20歳 平成元年生	34歳 昭和50年生	38歳 昭和46年生	39歳 昭和45年生

数え年とは、満年齢に誕生日前には二歳、誕生日後には一歳を加えた年です。

命継ぐ食もの衣もの住むいへも  
稲荷の神の恵みなりけり

## 稲積神社

甲府市太田町公園内鎮座  
電話 (055)233-5573  
FAX (055)226-0787